

第 4 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 4 号)

1 平成2年12月25日（火曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

| | | | | | |
|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 1番 | 脇田 | 安保 | 2番 | 永井 | 龍平 |
| 3番 | 田沢 | 勝信 | 4番 | 庄司 | 二三男 |
| 5番 | 岩村 | 勝弘 | 6番 | 山崎 | 雅己 |
| 8番 | 鈴木 | 勝美 | 9番 | 山口 | 康雄 |
| 10番 | 鈴木 | 忠夫 | 11番 | 神田 | 守隆 |
| 12番 | 榎本 | 春光 | 13番 | 山中 | 金治郎 |
| 14番 | 小宮 | 利夫 | 15番 | 横溝 | 功 |
| 16番 | 石井 | 昌治 | 17番 | 石井 | 謀 |
| 18番 | 日下 | 君敏 | 19番 | 川名 | 正二 |
| 20番 | 福原 | 勤 | 22番 | 黒川 | 平治 |
| 23番 | 流山 | 源次郎 | 25番 | 渡辺 | 昭夫 |
| 26番 | 近藤 | 好雄 | 27番 | 林 | 豊 |
| 28番 | 飯田 | 義男 | | | |

1 欠席議員 1名

7番 生稻 隆

1 出席説明員

| | | | | | |
|----------------|----|----|--------------------|----|----|
| 市長 | 庄司 | 厚 | 助役 | 小幡 | 清之 |
| 収入役 | 渡辺 | 弘 | 市長公室長 | 錦織 | 茂 |
| 総務部長 | 二通 | 英雄 | 民生部長 | 佐藤 | 澄雄 |
| 経済部長 | 安西 | 良一 | 水道課長 | 鈴木 | 信一 |
| 教育委員会 委員長 | 正木 | 高朗 | 教育委員会 委員長 | 福原 | 修 |
| 選挙管理委員会 委員長 | 加藤 | 利 | 選挙管理委員会 委員長 | 庄司 | 徹 |
| 監査委員 | 鈴木 | 重司 | 監査事務局 局長 | 熊坂 | 桂一 |
| 農業委員会 会長 | 斎藤 | 明 | 農業委員会 事務局 局長 | 岩城 | 昭 |

1 出席事務局職員

事務局 長 川上 義雄

事務局 長 補 佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第4号）

平成2年12月25日午前10時開議

- | | | | |
|-------|---|----------|--|
| 日程第 1 | { | 議案第42号 | 千葉県競輪組合を千葉縣市町村公平委員会の共同設置団体に加えること及び千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について |
| | | 議案第43号 | 館山市福祉基金条例の制定について |
| | | 議案第45号 | 平成2年度館山市一般会計補正予算（第2号） |
| 日程第 2 | | 議案第44号 | 南部圏域広域的水道整備計画を定めるにつき同意を求めることについて |
| 日程第 3 | | 議案第46号 | 平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号） |
| 日程第 4 | | 請願第29号 | 固定資産税の据え置きを求める請願書 |
| 日程第 5 | { | 請願第30号 | 義務教育費国庫負担制度堅持に関する請願書 |
| | | 請願第31号 | 第5次（高校第4次）学級編制及び教職員定数改善計画の1991年（法定年度内）完全完結を求める請願書 |
| 日程第 6 | | 継続審査について | |
| | { | 議案第47号 | 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第48号 | 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 日程第 7 | { | 議案第49号 | 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の |

制定について

議案第50号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第3号）

議案第51号 平成2年度館山市国民健康保険特別会計補正
予算（第2号）

議案第52号 平成2年度館山市ユースホステル特別会計補
正予算（第1号）

議案第53号 平成2年度館山市水道事業特別会計補正予算
（第1号）

日程第 8 議案第54号 館山市名誉市民の称号を贈ることについて

日程第 9 議案第55号 人権擁護委員候補者の推薦について

日程第10 発議案第12号 法務局職員の増員に関する意見書について

日程第11 安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙

開 議 午前10時17分

◎議長（渡辺昭夫君） 本日の出席議員数25名、これより第4回市議会定例会第4日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（渡辺昭夫君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第1、議案第42号、議案第43号及び議案第45号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました各議案は、12月19日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長榎本春光君。御登壇願います。

(総務委員会委員長榎本春光君登壇)

◎総務委員会委員長(榎本春光君) ただいま議題となりました議案第42号、議案第43号及び議案第45号にかかわる総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る19日の本会議において本委員会に付託されました各議案につきまして、同日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。以下、委員会における質疑応答等主なものについて申し上げます。

まず、議案第43号館山市福祉基金条例の制定についてであります。今回普通交付税において地域振興基金費が措置されたことに伴い基金を設置するものであるとの説明がされておりますが、その積算方法等について説明を求めましたところ、市の人口と65歳以上の高齢人口によって積算されており、確定はしていないが、現段階では今回のみの措置ではないかという感触を持っている。なお、現在さらに市において積み立てをする考えはないが、市民からの寄附についてはこの基金に積み立てていくとの説明がありました。

また、基金の活用について説明を求めましたところ、まだ具体的に検討はしていないが、予算化する段階で議会で協議願うことになるとの説明がありました。

委員より、貴重な資金であるので、福祉政策の起爆剤となるような事業に活用されたいとの要望がありました。

次に、議案第45号平成2年度館山市一般会計補正予算(第2号)であります。保健衛生費において家庭用小型合併浄化槽設置事業補助金が計上されており、本会議においても質疑されておりますが、さらに本委員会では関連して公共下水道との整合性について、あるいは農山漁村集落排水処理施設の導入に対する考え方について詳細に質疑がありました。

意見として、生活排水の処理には経費、時間的に見て合併浄化槽設置の推進が必要であること、農業集落排水処理施設については農家の負担が危惧さ

れるとの発言がありました。

また、前年度14基設置の実績に対して、今年度は今回の補正により27基を見込んでおり、合併浄化槽についてはあらゆる機会を通じてPRを行っているとの説明がありました。

次に、駅西口地区土地区画整理事業の現況について説明を求めましたところ、平成元年度に行った換地設計を本年の10月18日から2週間権利者の供覧に付し、また市営住宅跡地などの整地や排水路の整備を行っているとの説明がありました。

なお、換地案の供覧の結果、10宅地の権利者から形状、位置、減歩率の関係で要望書が出て現在調整しており、後に土地区画整理審議会において審議することになるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第42号、議案第43号及び議案第45号の各議案につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げ、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

議案第42号、議案第43号及び議案第45号について一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(渡辺昭夫君) 日程第2、議案第44号 南部圏域広域的水道整備計画を定めるにつき同意を求めることについてを議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長(渡辺昭夫君) ただいま議題となりました議案第44号は、12月19日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより本案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長山口康雄君。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長山口康雄君登壇)

◎建設経済委員会委員長(山口康雄君) ただいま議題となりました議案第44号南部圏域広域的水道整備計画を定めるにつき同意を求めることについてに係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る19日の本会議において本委員会に付託されました議案につきまして、20日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。以下、委員会における質疑応答等主なものについて申し上げます。

まず、長柄ダムの概要について説明を求めましたところ、平地につくられたアース式ダムで、集水面積は通常のものより狭い。有効貯水量は960万トンであるとの説明がありました。

次に、本会議においても論議されている産業廃棄物の不法投棄と水質について質疑があり、現場は確認していないが、茂原への国道沿いと聞いている。

水質検査については、県、水資源開発公団、九十九里水道企業団において62年度7回、63年度24回、平成元年度12回、平成2年度7回行われており、原水及び浄水には問題はないということで、安全な水源であると理解しているとの説明がありました。

なお、産業廃棄物の不法投棄の対策として、水資源開発公団では流入を防止するための締め切り工事、矢板盤の打ち込みを行っており、県の環境部からは撤去命令が出ているとの説明がありました。

次に、総事業費 660億円で、そのうち館山市が49億円と聞いているが、事業費がふえた場合の措置について説明を求めましたところ、本年度中に厚生省の認可を取るが、その時点で国庫補助等が決定される。企業団自体の起債、国庫補助等を除いた残りが出資金になるが、今後工事を行っていく段階で若干の金額の変動はあるのではないか。なお、出資金の割合は各市町村の受水量割で決定されとの説明がありました。

次に、本市の水道料金について説明を求めましたところ、広域水道企業団から用水単価が示されるが、水道事業としては受水料は水道料金の中から支払うことになる。したがって、水道料金は受水料や第3次拡張事業等すべてを精算した中で料金の設定をすることになり、現在は未定であるとの説明がありました。

次に、用水を受けるのは必要なときだけでいいのかとの質問に対し、館山市の現在持っている水と広域水道企業団の水はプールされ、館山市水道は同一料金になる。広域水道企業団の運営もあり、年間を通しての責任水量制がとられるのではないかと説明がありました。

委員より、料金の問題もあるが、一日も早く通水することが先決である。県でも料金対策について配慮されると思うが、計画の見通しがついた時点で強力な運動を進めてもらいたいとの要望がなされました。

採決の結果、付託を受けました議案第44号南部圏域広域的水道整備計画を定めるにつき同意を求めることにつきましては、全員一致をもって同意することに決しました。

以上、御報告を申し上げ、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君）　以上で委員長の報告を終わります。

質　疑　応　答

◎議長（渡辺昭夫君）　ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討　　　論

◎議長（渡辺昭夫君）　これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君）　議案の第44号南部圏域広域的水道整備計画を定めるにつき同意を求めることについて反対の討論を行います。

私は県南部地域の利水事業は急がなければならないと主張し、これまでも君津地区にある豊英ダム等を水源とした場合の試算などを具体的に示してまいりました。今回提案された案は、安房、夷隅17市町村の地域を対象に、利根川水系長柄ダムを水源にして水道整備計画を定めようとするものでありますが、この計画には重大な問題点があります。私はその問題点を指摘するとともに、私の主張を述べ、反対討論といたします。

その第1点は、長柄ダムの水質問題であります。既に質疑の中でも明らかにいたしました。長柄ダムに隣接する周辺地域で不法に産業廃棄物が投棄され、この投棄された場所から猛毒のシアンが検出されていきました。水道法では、水質基準としてシアン、水銀、そのほかの有毒物質を含まないこととしています。もし周辺の産廃の捨て場からシアンがダムに流れ込み、そのシアンが検出されたとすれば、もはや水道水として使用することはできません。市の答弁ではダム内の水質に異状はなかったとしておりますが、もし異状があったとすれば即水道水としての使用ができなくなるという大変重大な問題であります。

また、この件については県が撤去などの改善指導及び措置命令をしている

との答弁でありました。しかし、依然として長柄ダム周辺では産業廃棄物の不法な投棄が今でも行われているのが実態であります。我が党の安房郡市の市町村議員団では今月8日に現地調査を行いました、これらの実態を確認してまいりました。

この長柄ダムを上水道の水源として活用するというのならば、最低限度の問題として、個々の産業廃棄物の不法投棄問題での対処にとどまらず、産業廃棄物の不法投棄ができないようこの周辺環境の保全の措置が厳しくとられなければなりません。

第2点目の問題は、この水道事業の経営の問題であります。地方自治法第2条第6項には都道府県が責任を持つべき事務を示していますが、その中には広域にわたるもの、統一的な処理を必要とするものとして、具体的に上水道、そのほかの利水事業を例示しております。まさにこの南部圏域広域的な水道整備計画は17市町村にも及ぶ広域的な事業であり、統一的な処理を必要とするものであります。地方自治法が想定している県営事業として行うべき事業であります。

17市町村の共同事業として実施した場合、その財政負担が莫大で、各市町村の財政を圧迫するのみならず、結局利用者の水道料金の高騰が懸念される。との私の質問に対して、県知事が現在の九十九里水道並みの料金になるよう財政援助をすると具体的な目標を県議会で答弁したとの説明でありました。それ自体は結構なことでございます。しかし、それを前提として試算をいたしますと、県の財政負担はおおよそ50%にもなります。県がそれだけの援助をするというのならば、むしろ地方自治法にあるとおり県営事業として行うのが道理であります。

さらに県は、県西部広域的な水道整備計画の実施地域では末端給水まで含めて現実に県営水道として給水をしております。確かにそれにはさまざまな歴史的な事情があるのでありますが、比較的財政力にも力のある県北部の市には県営水道が整っているが、財政的にも力の弱い県南部地区では、補助はするが、市町村の共同で水道事業を行えというのは公平に欠ける県政ではないのかと指摘せざるを得ません。私は改めて事業の県営化を強く主張いたします。

す。

以上の2点を指摘し、私の反対討論といたします。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で神田守隆君の討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありますか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本案についての委員長の報告は原案同意であります。

本案を委員長の報告どおり同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（渡辺昭夫君） 起立多数であります。よって、本案は同意することに決しました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第3、議案第46号平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました議案第46号は、12月19日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより本案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長岩村勝弘君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長岩村勝弘君登壇）

◎文教民生委員会委員長（岩村勝弘君） ただいま議題となりました議案第46号平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）にかかわる文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る19日の本会議において本委員会に付託されました議案につきまして、20日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

今回の補正に関連して、館山市の老人の医療費は他市に比較してどうか説明を求めましたところ、1人当たりの費用額は約43万円で、県内80市町村中24番目、28市の中では18番目であるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第46号平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げ、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。
通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。
本案についての委員長の報告は原案可決であります。
本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第4、請願第29号固定資産税の据え置きを求める請願書を議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました請願は、12月19日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより本請願に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長榎本春光君。御登壇願います。

（総務委員会委員長榎本春光君登壇）

◎総務委員会委員長（榎本春光君） ただいま議題となりました請願第29号固定資産税の据え置きを求める請願書にかかわる総務委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げます。

去る19日の本会議において本委員会に付託されました本請願につきまして、同日招集された委員会において慎重に審査を行いました。

まず、来年度の固定資産税の評価がえに関する国の動向について説明を求めましたところ、全国の市長会、町村長会、市議会議長会、町村議会議長会において生活に最小限必要な個人住宅用地等について急激な税負担増にならないよう適切な措置を要望しており、その要請を受けて自治省では、個人の住宅用地については特に配慮するということで、負担調整期間を現行の3年間から5年間に緩和、さらに小規模住宅用地については負担調整率の刻みを改正し、納税者の負担の軽減に配慮するという内容の検討がされ、来年度の税制改正大綱に盛り込まれる見通しであるとの説明がありました。

さらに、請願事項にある小規模住宅用地を現行税額で据え置くことについて、また市町村独自の対策について市の考えを伺いましたところ、現在200平方メートル以下の小規模住宅用地に対する特例措置については4分の3の減免、200平方メートルを超える住宅用地にあっては2分の1の減免をしており、税法を改正しない限りこれ以上の軽減は不可能である。また、評価がえに当たっては自治大臣が作成した評価基準に基づいて評価を進めるもので、

国、県から示される指示平均価格を無視して市町村独自で評価額を決定することは不可能であるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました本請願につきましては賛成者がなく、採択しないことに決しました。

以上、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本請願についての委員長の報告は採択しないであります。

本請願を委員長の報告どおり採択しないことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（渡辺昭夫君） 起立多数であります。よって、本請願は採択しないことに決しました。

請願書の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第5、請願第30号及び請願第31号の各請願を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました請願は、12月19日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各請願に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長岩村勝弘君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長岩村勝弘君登壇）

◎文教民生委員会委員長（岩村勝弘君） ただいま議題となりました請願第30号及び請願第31号にかかわる文教民生委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げます。

去る19日の本会議において本委員会に付託されました各請願につきまして、20日招集された委員会において慎重に審査を行いました。

まず、請願第30号義務教育費国庫負担制度堅持に関する請願書であります。が、関連して館山市における父母負担の状況について説明を求めましたところ、小学校ではPTA会費と教材費、中学校ではそのほかに部活動後援会費が毎月徴収されているとの説明がありました。

また、PTA会費は小規模校が高く、バザー等を行っているが、PTA活動を圧迫しており、改善の方法を考えられないかとの指摘に対しまして、大変なことは承知しているので、検討していきたいとの考えが示されました。

そのほか、各学校の備品等についてはよく調査され、予算的に十分配慮されたいとの要望がなされました。

次に、請願第31号第5次（高校第4次）学級編制及び教職員定数改善計画の1991年（法定年度内）完全完結を求める請願書であります。が、学級編制及び教職員配置改善計画に対する教育委員会の考えを伺いましたところ、40人学級については何とか達成できそうではあるが、配置改善計画については教頭代替、初任教員の研修制度に伴う研修代替、小学校専科教員等の達成率が十分でない状況であることから請願されているのではないかと説明がありました。

採決の結果、付託を受けました請願第30号及び請願第31号の各請願につきましては、全員一致をもって採択することに決しました。

以上、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

請願第30号及び請願第31号についての委員長の報告は採択するであります。

各請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、請願第30号及び請願第31号の各請願はいずれも採択することに決しました。

日程の追加

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

ただいま採択されました請願書に附帯して、発議案第13号義務教育費の国庫負担削減に反対する意見書について及び発議案第14号第5次（高校第4次）学級編制及び教職員定数改善計画の法定年度内完結を求める意見書についてが提出されました。

この際、各議案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、各議案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 発議案第13号及び発議案第14号の各議案を一括して議題といたします。

議案を配付いたさせます。

（議案配付）

◎議長（渡辺昭夫君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（渡辺昭夫君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（渡辺昭夫君） 提出者の説明を求めます。

岩村勝弘君。

（5番議員岩村勝弘君登壇）

◎5番（岩村勝弘君） ただいま議題となりました発議案第13号義務教育費の国庫負担削減に反対する意見書について並びに発議案第14号第5次（高校第4次）学級編制及び教職員定数改善計画の法定年度内完結を求める意見書について提案理由を御説明申し上げます。

各議案につきましては、ただいま採択されました請願書の趣旨をそれぞれ関係機関に要望いたしたく、お手元に配付のとおり8名の賛成者を得まして提出いたした次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明とい

たします。

◎議長（渡辺昭夫君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

発議案第13号及び発議案第14号を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、発議案第13号及び発議案第14号は原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第6、継続審査についてお諮りいたします。

建設経済委員会に付託中の請願第28号リゾートマンション建設の規制強化に関する意見書提出を求める請願書については、委員長から慎重審査の必要上、会議規則第104条の規定により閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

お諮りいたします。請願第28号を委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（渡辺昭夫君） 起立多数。よって、請願第28号は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（渡辺昭夫君） なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承を願います。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第7、議案第47号乃至議案第53号の各議案を一括して議題といたします。

議案の内容説明

◎議長（渡辺昭夫君） 議案の説明を求めます。

市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 提案理由を御説明申し上げます。

議案第47号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第48号館山市長、助役、収入役の

給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第49号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本年8月の人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定及び10月の千葉県人事委員会の勧告に基づき、本市におきましても一般職員の給料、諸手当につきまして、国及び県に準じその額を改正し、本年4月1日から適用しようとするものでございます。また、あわせて市議会議員及び市長等の期末手当につきましても所要の措置を講じようとするものでございます。

次に、議案第50号平成2年度館山市一般会計補正予算（第3号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして歳入歳出それぞれ1億7,328万3,000円を追加し、総額120億3,052万7,000円としようとするものでございます。歳出の内容といたしましては各款における人件費の補正でございますが、これは本年度予定されます給与改定等によるものでございます。これらの財源といたしまして、前年度繰越金の一般財源1億7,328万3,000円をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第51号平成2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）でございますが、給与改定等に伴う人件費で236万7,000円の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第52号平成2年度館山市ユースホステル特別会計補正予算（第1号）でございますが、給与改定等に伴う人件費で83万3,000円の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第53号平成2年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、収益的支出におきまして給与改定等に伴う人件費で1,285万1,000円の追加をお願いするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

以上。

◎議長（渡辺昭夫君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、各議案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第8、議案第54号館山市名誉市民の称号を贈ることについてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（渡辺昭夫君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（渡辺昭夫君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第54号館山市名誉市民の称号を贈ることについて提案理由を御説明申し上げます。

館山市名誉市民条例の趣旨に従いまして、館山市の発展に大きく貢献されました故半澤良一氏に館山市名誉市民選考委員会の答申に基づきまして館山市名誉市民の称号を贈りたく、市議会の同意を求めようとするものでございます。満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

以上で説明終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論ありませんか。― 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

本案については同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は同意することに決しました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第9、議案第55号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（渡辺昭夫君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（渡辺昭夫君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第55号人権擁護委員候補者の推薦について提案理由を御説明申し上げます。

来年1月14日をもちまして任期満了となります人権擁護委員1名につきまして、人権擁護委員法第6条第3項の規定により候補者の推薦を求められておりますので、伊藤秀勇さんを最適任といたしまして御推薦申し上げたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

以上で説明終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第10、発議案第12号法務局職員の増員に関する

意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(渡辺昭夫君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長(渡辺昭夫君) 議案の説明を求めます。

榎本春光君。

(12番議員榎本春光君登壇)

◎12番(榎本春光君) ただいま議題となりました発議案第12号法務局職員の増員に関する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、陳情審査結果報告のとおり、総務委員会において了承できるものと決定されました陳情書の趣旨を関係機関に要望いたしたく、お手元に配付のとおり6名の賛成者を得まして提出いたしました次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明といたします。

◎議長(渡辺昭夫君) 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長(渡辺昭夫君) これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長(渡辺昭夫君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第11、安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は1名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員に福原 勤君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました福原 勤君を安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり福原 勤君が安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました福原 勤君が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

閉 会 午前11時18分

◎議長(渡辺昭夫君) 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第4回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第42号乃至議案第55号
- 1 請願第29号乃至請願第31号
- 1 発議案第12号
- 1 日程の追加・発議案第13号及び発議案第14号
- 1 安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙
- 1 継続審査について(請願第28号)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会議員

館山市議会議員